

秋は那須の山間部で早く始まり、リンドウ種のエゾリンドウのような秋の花が早くも 8 月下旬に咲く。9 月中旬までにはナナカマド、ミズナラ、ウリハダカエデ、その他の樹木の葉が色を変えはじめ、10 月末に最も色付く。渡り蝶のアサギマダラは、見事な淡青、黒、そして赤褐色をした蝶で、夏と秋に山岳地帯で見られる。アザミとヒナギク科の花々のあいだをひらひらと舞う。他の高山植物の花には、トリカブト、シラネニンジン、キク科のイワインチンの黄色い群生がある。10 月下旬に初雪が降り、ハイキングシーズンは 11 月上旬に終了する。

標高の低い地域では、9 月から 11 月の間にブナの実やドングリが実り始める。これらは、ムササビ、ツキノワグマ、ヤマネ、リス、サルにとって、冬を生き抜くための重要なカロリー源でごちそうである。森の外では、リンドウがこの地域で最後に開花する植物である。9 月下旬から 10 月にかけて現れるその紺色の花びらは、日が当たると完全に開く。これによって、完全に開花しないエゾリンドウ種やオヤマリンドウと区別することができる。

10 月半ばになると、カシラダカ、アトリ、マヒワ、シメなどの冬の渡り鳥がシベリアや他の寒冷地から到着しはじめる。運が良ければ、日本の国鳥であるキジが草原や田んぼで採餌している姿に出会えるかもしれない。